

文教厚生常任委員会

町一般会計補正予算（第九号）の関係分

問 次世代育成支援対策事業の今後の具体的な進め方は。

答 市町村は、町行動計画の策定が義務付けられ、また、三〇〇名以上の事業所についても、事業主行動計画の策定が規定されている。連携を密にして、計画策定を進めたい。

問 中学校の体育館やトイレなどに、故意によるものと思われる破損箇所がある。原因を調査し、子供たちに善悪の判断を徹底させるべきでは。

答 故意による場合は、現在も本人負担としている。今後もその方向で考えている。

問 屋内温泉プールの泉源は、

プールと佐志ニュータウンへの供給と、どちらを優先するのか。また、今後の利用や経費の負担なども、今、調整しておくべきではないか。

答 利用については、温泉プールが、優先されると考えている。利用の調整は、佐志ニュータウンに、貯湯タンクが設置されることから、調整できると思う。経費については、使用量に応じて、按分していく考えである。

町国民健康保険事業特別会計補正予算（第二号）

問 医療費のなかで、退職者医療費が増大している。高額医療費の主な病名と、人工透析者の現状は。

答 高額医療の主な病名は、骨髄性白血病ほか、食道がん・

胆管がん・肝臓がん等である。人工透析は、一般十九名、退職者三名の合計二十二名が治療中である。

町介護保険事業特別会計補正予算（第二号）

問 介護費用が、増加の傾向にある。介護費用適正化への今後の取り組みは。

答 介護費用はもちろん、国保・老人会計の医療費の抑制には、住民への健康づくり推進が最も大事である。そのために、高齢者のふれあいと健康づくりの場としての、地域公民館等のサロン化や地域福祉ネットワークの充実に向けて、取り組んでいきたい。



地域ぐるみでの健康づくりへの取り組み（久富木北原公民会）